

三重県こども心身発達医療センター（仮称）および併設する特別支援学校の整備について（報告）

県では、子どもの発達支援体制の強化を図るため、草の実リハビリテーションセンター、小児心療センターあすなろ学園及び児童相談センターの言語聴覚機能を統合した、三重県こども心身発達医療センター（仮称）（以下「新センター」といいます。）および併設する特別支援学校の整備に取り組んでいます。

1 新センター等の整備方針

(1) 専門人材を集積し、専門性を高め、子どもにとって安全、安心な環境の中で、良質で高度な医療・福祉サービスを提供します。

(取組内容)

- ・専門人材の集積、多職種が有効に協働
- ・居室環境の改善、病院機能の向上
- ・遊びと見守りの空間確保

(2) 小児医療との連携強化・機能補完により、利用者の利便性を向上させるとともに、小児分野の臨床経験の場や機会を創造します。

(取組内容)

- ・小児医療（三重病院）との連携強化、機能補完
- ・専門医療が日常的に受けやすい環境、利便性の向上
- ・臨床の場の創設、医師確保、専門医育成

(3) 専門医療をベースに地域の支援機能を高め、併設する特別支援学校とともに、発達支援の中核として、三重県全体の総合力の向上をめざします。

(取組内容)

- ・スキルやノウハウを地域に還元
- ・重層的な支援機能、総合力の向上
- ・教育のセンター的機能の充実
- ・新たな機能効果の創出

※具体的な内容や施設運営等について、テーマ別のワーキンググループを設置し検討を行っています。その中で、併設する特別支援学校との連携による地域支援等に関する検討を県教育委員会とともにを行っています。

2 現在までの取組状況

新センターの整備については、平成23年度に三重県地域医療再生計画に位置付け、基本計画を取りまとめた上で、平成24年度は地権者との協議や用地測量、地形測量、環境調査等を進めました。平成25年度は都市計画法上の建築許可を受けて、土地の所有者である独立行政法人国立病院機構から土地の買収を行い、平成26年2月から建築関連（敷地）工事を実施しています。

建築設計については、平成26年度末に実施設計を完成させ、その後、建築工

事については平成 27 年 6 月 30 日に契約を締結し、実施しています。

3 今後の整備スケジュール

新センターについては、平成 29 年 3 月末の施設完成後、2 か月の準備期間を経て、平成 29 年 6 月に開院する予定です。

平成 29 年 3 月 建築工事完成（予定）

平成 29 年 6 月 新センターの開院及び新校舎への移転（予定）

4 新センター等の整備概要

- ① 敷地面積：約 16,600 m²
- ② 建築規模：延べ面積 17,200.62 m²
(新センター：13,013.52 m² 特別支援学校：4,187.10 m²)
- ③ 建築構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）4 階建て
1F : 外来、小児整形病棟等
2F : リハビリテーション、デイケア、聴覚、管理部門等
3F～4F：児童精神病棟
※特別支援学校は別棟 1F～3F
- ④ 建設費：約 90 億円（平成 27～28 年度）
(内訳 新センター：約 71 億円 特別支援学校：約 19 億円)
- ⑤ 標準工期：21 か月間
- ⑥ 施工業者：建設工事 清水・北村・丸亀特定建設工事共同事業体
電気設備工事 東邦・桑名・三重電業特定建設工事共同事業体
機械設備工事 朝日・前橋・増川特定建設工事共同事業体